

事業区分	課 題	実 時 期	施 場 所	普及対象	協 力 団 体	者 等	普 及 活 動 事 項	沿岸施策との関連
							年1回、生産技術面を主体に、意見交換を実施する。	
試験事業	イトモズクの糸状体保存及び養殖試験（技術改良試験）	4月～3月	恩納糸満	生産グループ	市町村、漁協		本モズク（オキナワモズク）のつなぎとして、前期（12月～3月）養殖が可能であり3年前から養殖への気運がたかまってきた。ライフサイクルや生態的な基礎研究が水試で実施され、養殖への展開が可能になったので、技術改良試験を導入し、安定した養殖技術の確立を図りたい。	
一般指導事業	1. モズク養殖漁業環境調査指導 2. クビレヅタ養殖漁場環境調査指導 3. 漁協青壮年部育成指導（担い手育成）	4月～3月 4月～3月 4月～3月	北部、中部、南部 具志川 県下12地区の青壮年部	生産者 青壮年部	市町村、漁業組合 市町村、漁協		同調査を水試で対応できないようであれば、普及所において、88年～89年にかけて実施した内容についての調査を検討したい。 ウスイロボヤの駆除対策関連で実施するが、琉大海洋学科でも継続調査を実施し、基礎研究を進めているので、みきわめながら実施協力したい。 前年度同様、移動相談を実施して、漁協青壮年部の組織の強化と部会、班毎の課題設定について援助する。また、平成2年度の移動相談は、地域に促した事例紹介等実施するとともに、指導漁業士の援助もあおぎたい。（漁業士活動促進事業の一環として。）	

事業区分	課	題	実 時 期	施 場 所	地区又は 普及対象	協 団 体	者 等	普 及 活 動 事 項	沿岸施策との関連
事業 修業	普及員	普及員一般研修	9月、 3月	普及所	普及員	専門技術員		(1) 漁業士会活動と青年部の役割 (国頭漁協青年部とのタイアップによる 漁業士現地適応化試験について) (2) イトモズクの生産実態と漁場利用 (技術改良試験との関連)	
	漁業者	漁業技術一般研修	4月～ 3月	北部、中 部、南部、 宮古、八 重山	生産者 青壮年部	専門技術員		(1) モズク養殖に関すること、主にオキナ ワモズクについて (2) モズク養殖に関すること、主にイトモ ズクについて (3) ヒトエグサ養殖技術及び管理に関する こと (4) クビレヅタ養殖とホヤ対策に関するこ と (5) オゴノリ養殖に関すること (6) スジアオノリ養殖に関すること	

平成2年度 普及事業に関する移動相談、研修及び会議実施計画

(専技室)

事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
青壮年部巡回移動相談			→						→				12地区の漁協青壮年部
青壮年部長事務局長会議											→		移動相談の総括
漁業士会議 (漁業士促進事業の一環)			→					→					漁業士会活動を推進 (モズク、クビレオゴノリ、 クビレヅタ、ヒトエグサ)
養殖漁場環境調査 (水試とのタイアップ)		→											水試とのタイアップにより実施
地域活動計画の実施	→												複数で2～3地区選定
モズク養殖生産者会議							→						生産者間の技術の交流及び 意見交換
ヒトエグサ養殖生産者会議						→							(1)モズクの生産安定と漁場利用 (2)漁業士会活動と青年部の役割 (現地適応化試験を試みて)
普及員一般研修			↔			→							(1)モズクに関すること (2)ヒトエグサに関すること
漁業者一般研修		(クビレヅタ)			(ヒトエグサ)	(モズク)				(クビレオゴノリ)			(3)クビレオゴノリに関すること (4)クビレヅタに関すること 俗にイトモズクの種保存及び 繁殖試験
技術改良試験											↔		
普及だよりの発行			→			→							
青年漁業士研修講座					↔								
青壮年部リーダー研修会									↔				

平成2年度普及区域指導計画

都道府県名 沖縄県
 改良普及員室名称 沖縄県水産業改良普及所普及員室
 普及区域 沖縄本島地区

事業区分	課	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協団	協力団体	普及活動事項	沿岸施策との関連
企画事業	若い漁業者確保推進委員会		6月 11月	普及所	推進委員	漁市	協村	委員会の検討事項 ①中核的漁業経営者の育成確保 ②漁業士制度 ③営漁指導 ④調査指導	新規
			6月 10月 3月	本島地区	漁村青少年委員	漁市 青年 学識経験者	協村 町 部	。若い漁業者育成確保促進事業の検討、策定のための協議会開催、漁協青年部との交流会を実施する。	
	普及職員業務連絡会議		5月、 9月、 2月	本島、八重山、本島	普及職員	漁市	協村	普及事業の計画検討や活動状況の情報交換を行なう。	
			4月～ 3月	沖縄一円	青壮年漁業者	漁市	協村	平成2年度は青年漁業士5名、指導漁業士3名を認定予定、8月に青年漁業士研修講座、11月に認定審査会、1月に認定式を行なう。	
	計画営漁点検指導事業		平成2年 4月～3 年3月	恩納	漁業者 漁協	村、その他		昭和62年度に作成した地域営漁計画の点検指導を行う。	

事業区分	課 題	実 施 時 期	地 区 又 は 場 所	普 及 対 象	協 団	力 体	者 等	普 及 活 動 事 項	沿岸施策との関連
企画事業	普及だより	4月～ 3月 (3回)	沖繩一円	漁業者 漁協 市町村	漁市	漁市	協村	漁協や関係機関との情報交換、現場情報提供のため、3回発行する。	
調査事業	漁業公営調査	4月～ 3月	本島地区	漁業者	漁市	漁市	協村	赤土汚染調査と藻場調査を実施する。	
研修事業	交流学習会	7月	糸満市	漁業者	漁市	漁市	協村	①「沿岸漁業の担い手と後継者の役割」 東京水産大学助教授 加 瀬 和 彦	
		11月	石垣市	漁市	漁市	漁市	協村	② 漁協青年部リーダー研修会 講師 指導漁業士 上 原 佑 強 専 技 瀬 底 正 武	
	技術交流会	5月	伊良部町	漁業者 青年部	漁市	漁市	協村	① 青年部活動とバヤオ漁業 参加者 石川市漁協青年部 1名 沖繩市漁協青年部 1名 久米島漁協青年部 1名	
		6月	伊平屋村	漁業者 青年部	漁市	漁市	協村	② 青年部活動とモズク養殖 参加者 勝連漁協青年部 1名 異業種との交流を図る。	
	都市、漁村交流会	7月	県中央卸 売市場					① 交流場所 県中央卸売市場 参加者 本島地区 宮古地区 八重山地区 各1名	
		10月	調理師学 校						

事業区分	課	題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協団	協力団体	者等	普及活動事項	沿岸施策との関連
研修事業									② 交流場所 調師師学校 参加者 本島地区 宮古地区 八重山地区 各1名	
	普及職員一般研修	4月～3月(1回)		糸満市	普及職員	専	技	専門技術員による行政一般並びに専門技術についての研修を実施する。		
	全国水産業改良普及職員行政研修	4月～3月(1回)		東京	普及職員	水産	庁	平成2年度全国水産業改良普及職員行政研修参加		
試験事業	新技術定着試験 (ハマフエフキ養殖試験)	4月～3月		知念	養殖研究グループ	漁市水	協村試	現在、知念村海野漁港において、ハマフエフキ1年魚を養成中であり、その魚を継続飼育して、漁港内水面を利用した養成2年目のハマフエフキに関する歩留り、成長経営収支等についての資料を得る。		
	新技術定着試験 (クビレオゴノリ養殖試験)	4月～3月		具志川市	漁協 漁業者	漁市水	協村試	クビレオゴノリの増養殖試験 技術改良試験の成果をうけて、現地適応化の試験を実施する。 協力グループ 具志川市漁業組合青年部		
指導事業	水産教室(一般コース)				漁業者 青壮年部	漁市	協村	魚食普及パンフレット発行		
	" (専門コース)				漁業者 青壮年部	漁市	協村	① リゾート開発と漁業の対応 講師 沖縄水産高校 教諭 上田 不二夫		

事業区分	課	題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協団	力体	者等	普及活動事項	沿岸施策との関連
									②魚のマーケティング 講師 全国漁業協同組合連合会販売部 (漁村青壮年婦人活動実績発表大会と同時に開催)	
	漁村青壮年婦人活動実績発表大会		1月	那覇市	漁業者		漁業婦人	者	県内グループの活動意欲を高めるため、研究発表、技術交換等により、地域の生産技術の向上、経営の改善についての討議の場とする。	
	漁協青壮年部移動相談		4月～3月	本島担当地区	青壮年部		漁市町	協村	漁協青年部や青壮年部と活動状況等についての意見交換を行ない、地域にあったグループ活動を実施する。	
	魚類養殖指導		4月～3月	知念村 糸満市 北谷町 伊江村 大宜味村 伊平屋村 石川頭 石国頭	養殖グループ		漁市町水	協村試	マダイ、ハマフエフキ、シモフリアイゴ等海産魚類養殖の学習会と養殖技術指導を実施する。	
	魚類の中間育成		7月～12月		漁		栽培センター水	試	漁港内水面を利用して、ハマフエフキを対象魚種に放流サイズまで飼育、歩留りの向上と成長速度を早め短期飼育を試みる。	

事業区分	課	題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力団体	普及活動事項	沿岸施策との関連
指導事業	オニテナガエビ養殖指導		4月～3月	今帰仁村	養殖業者	市町	うなぎ養殖施設を利用したオニテナガエビ養殖指導を実施する。	
	貝類放流指導 (ヒメジャコ、タカセガイ等)		4月～3月	普及地区	漁業者協	水試、栽培センター	放流、中間育成等の現地指導を行う。	
	水産物加工指導 (トビイカ等)		"	"	漁業者協	水試	漁協等の要請に基づき指導を行う。	
	漁場自主管理指導		"	"	婦人部	水試等	県内各地の事例を調査し整理する。	
	漁場保全指導		"	"	漁協	公害衛生研究所等協	赤土汚染簡易測定法の指導等を行う。	
	マグロの鮮度保持指導		"	本島地区	漁業者 研究グループ	漁協青年部	バヤオ周辺で漁獲される大型のキハダマグロのヤケ防止について継続指導する。	
	海藻養殖指導		4月～3月	恩納漁協	漁業者 研究グループ	水試 漁協青年部	小シビ、カツオについても、本土出荷できる鮮度保持と流通対策を検討する。	
	ソデイカ漁場の調査		4月～3月	久米島漁協	漁業者	漁協青年部	地域営漁計画を作成した漁協を対象に、モズク養殖指導を実施する。専技室で実施するイトモズクの越冬保存、養殖技術改良試験の協力を行なう。	
			4月～3月	本島地区 一円	漁業者	漁協青年部	久米島海域で好成績をあげた深海のソデイカ漁法の普及を図るため、生息海域の特徴、食性等の調査を実施する。	
	沿岸漁業改善資金調査指導		4月～3月	本島地区	沿岸漁業 従事者	水試 漁協 市町	。平成3年度需要調査の実施 。平成2年度1～3回に係る改善資金申請	

事業区分	課	題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力団体	普及活動経過	沿岸施策との関連
							受付 それぞれの回の申請者調査及び確認調査の実施	

平成2年度普及区域指導計画

都道府県名 沖縄県
改良普及員室名称 八重山支庁農林水産課
普及区域 八重山地区

事業区分	課 題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力団体	普及活動経過	沿岸施策との関連
企画事業	①八重山漁協地域漁業活性化事業計画	4月～3月	普及地区	漁業者	漁協、市、町	「八重山の水産業の活性化」を図る目的で事業計画が作成された。この事業計画に基づき諸問題解決のために普及活動の展開を図る。（詳細は、活性化実施計画書参照）	
	②漁村青少年協議会	6月～3月	普及地区	漁村青少年	漁協、青年部	漁業後継者対策事業の検討、策定のための委員会開催	
	③モズク養殖生産者部会の設置	6月～3月	普及地区	漁業者	市、町、漁協、市、町	八重山地域は天然のモズクを生産し、本土市場へ出荷しているが、天然モズクは砂や雑草等が混入し、製品価値は低い、このため養殖への転換を図るために模範的なグループを育成する。	
調査事業	漁業公害調査	4月～3月	普及地区	漁業者	漁協、水試	沿岸の水質測定（水温、DO、pH、比重等）及び赤土調査	
研修事業	交流学習会	7月	八重山漁協	漁業者 漁協 市、町	漁協、市、町	「沿岸漁業のいないでと漁業後継者の役割り」 東水大 加瀬 和俊	
	特別研修	5月	糸満市	漁業者	糸満漁協 漁業者 士	底延縄漁業に関する技術交流 与那国漁協青年部 2人	

事業区分	課	題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協団	力体	者等	普及活動経過	翌年度への展開事項
研修事業	青年水産教室		6月	八重山 漁協	漁業者 漁協	漁市	業者	者	「リゾート開発と漁業の対応」 上田不二夫 沖縄水産高校教諭	
	漁協青年部との懇話会		5月～ 6月	八重山 漁協 与那国漁協	漁協 青年部	漁市	業者、 漁市、	協 町	漁協青年部との意見交換を行ない、地域に あったグループ活動を検討する。	
指導事業	沿岸漁業改善資金調査指 導		4月～ 3月	普及地区	沿岸漁業 従事者	漁市	協	協	改善資金の趣旨及び内容の啓蒙指導を実施 し、円滑な運営を図る。	
	シャコ貝放流と資源管理 の指導		4月～ 3月	普及地区	漁業者	漁市	協	協	。乱獲でシャコ貝資源は減少しつつある。 効果的な資源回復を計るために継続的に 放流を行ない、漁業者自らによる資源管 理型漁業を推進する。	
	水産物の加工指導		5月	八重山 漁協	漁業者 婦人部	漁市	協	協	トビウオのかまぼこ加工指導を継続して行 う。	

平成2年度普及区域指導計画

都道府県名 沖縄県
改良普及員室名称 宮古支庁農林水産課
普及区域 宮古地区

事業区分	課 題	実 施 期	地区又は 場 所	普及対象	協力団体	者等	普及活動事項	沿岸施策との関連
企画事業	宮古地区漁村青少年協議会	4月～ 3月	平良市 伊良部町 池間	漁村青少 年	市 漁	村 協	漁協青年部研究グループの活動を強化し、 学習会、交流会等を活発に行い、後継者の 資質向上を図る。	若い漁業者確保推進 事業
	普及職員業務連絡会議	4月～ 3月	糸満市	普及職員	市 漁	村 協	普及活動の計画、検討活動状況の情報交 換	
	漁業士等育成指導	4月～ 3月	普及地区	漁業者	市 漁	村 協	指導漁業士及び青年漁業士の推薦指導	
調査事業	漁業公害調査	4月～ 3月	与那覇湾	漁業者	市 漁	村 協	赤土の流入状況調査	
	ウニ礁の効果調査	4月～ 3月	島尻地先 大神西側 海域	漁業者	沖縄県水試 平良市栽培漁 業センタ－ 市 漁	協	大規模ウニ礁の効果調査	
	水産物の島外出荷調査	4月～ 3月	伊良部町	漁業者	町水産課漁協	協	水産物の島外出荷量を調査し、流通改善に 役立てる	
研修事業	水産業改良普及員一般研修	4月～ 3月	糸満市	普及員	専門技術員	専門技術員	専門技術員による行政一般及び専門事項に ついての研修	水産業改良普及員研 修実施基準

事業区分	課 題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協団	力体	者等	普及活動事項	沿岸施策との関連
	交流学習会	4月～ 3月	本島、宮古、八重山	青壮年 婦人部	市 漁	町 漁	村 協	「沿岸漁業の担い手と後継者の役割」というテーマで、東京水産大学助教授加瀬和俊氏の講演及び交流会を実施する。	
指導事業	沿岸漁業改善資金運用事業	4月～ 3月	管内全域	漁業者	市 漁	町 漁	村 協	需要調査、申請等の検討、手続き指導事業実施後の調査指導	沿岸漁業改善資金助成事業
	漁村青壮年婦人活動実績発表大会	1月	那覇市	青壮年婦人研究グループ	市 漁	町 漁	村 協	漁村青壮年婦人の研究実績を発表させることにより相互の知識の交流を図る	
	グループ指導	4月～ 3月	管内全域	〃	市 漁	町 漁	村 協	漁協青壮年婦人グループの育成指導	
	巡回指導	4月～ 3月	管内全域	〃	市 漁	町 漁	村 協	漁村を巡回し、相談、計画調査等の事業を行い、漁協青壮年婦人グループの意向集約及び育成強化について指導する。	
	シャコガイの種苗放流	4月～ 3月	未定	漁業者	市 漁	町 漁	村 協	シャコガイの追跡調査を含めて、放流事業を継続実施する（沖縄水試八重山支場）	
	コブシメ、ノコギリガザミの種苗放流	4月～ 3月	未定	漁業者	市 漁	町 漁	村 協	日裁協八重山事業所の放流、追跡調査に協力する	
	ミナミクロダイ、クルマエビ、シラヒゲウニの種苗放流	4月～ 3月	大浦湾与那覇湾嘉手苅入江	漁業者	市 漁	町 漁	村 協	平良市栽培漁業センターの放流追跡調査に協力する。	
	魚類の養殖指導	4月～ 3月	伊良部町	漁業者	市 漁	町 漁	村 協	ミナミクロダイを中心とした魚類の養殖を伊良部町水産課に協力し、指導していく	
	クビレヅタ（海ぶどう）の養殖指導	4月～ 3月	与那覇湾	研究グループ	市 漁	町 漁	村 協	沖縄県水試において生長促進技術が開発されたので、平成2年度はその技術を現場に	

事業区分	課	題	実 施 期 時	地区又は 場 所	普及対象	協 団 体	者 等	普 及 活 動 事 項	沿岸施策との関連
指導事業	モズクの養殖指導		4月～ 3月	宮古地区	モズクグ ループ	市 町 漁	村 協	応用したい。 フトモズク、イトモズク共に管理意識を 高め、品質の向上を図る。その他イトモズ クについては越夏保存技術の開発がなされ たので、平成2年度はその応用試験を実施 したい。	